

豊かな吾妻の自然が育む極上の温泉
期待高まる源泉かけ流し「全国温泉サミット」

東北初の「源泉かけ流し宣言」を行うなど、独自のまちづくりを展開している高湯温泉は、自然湧出の源泉が10カ所あり、落差を利用して各旅館にお湯が供給されています。「大地震の日には、温泉がストップ。急いで源泉を見にくくとパイプが外れていただけで無事。こんこんと湧いていて安心しました。このお湯が高湯を支えます」と遠藤淳一さん。

復興に向けて少しずつ動き始めたのは8月以降。一方で、原発事故による風評被害はとどまるところを知らず現在も苦しめられています。「震災や原発事故に苦しめられてもまず感謝しなければならぬのは、高湯温泉が好きで震災後も何度も泊まりに来てくださる再訪のお客さまです。また、『源泉かけ流し宣言』のきっかけをいただいた松田先生（札幌国際大学）からは、『全ての温泉が自然湧出という理想的な温泉地』とお墨付き。これらの原点をこれまで以上に大切にしていきたいです」。今年は、高湯温泉で第8回源泉かけ流し「全国温泉サミット」も開かれます。



高湯温泉観光協会 会長
遠藤 淳一さん

源泉かけ流し宣言

温泉地内の旅館など全施設が源泉から湧き出した温泉を加水・加熱、循環利用しないでかけ流しをしていることが条件。現在、全国9カ所の温泉地が宣言をしていて、平成22年6月に「日本源泉かけ流し温泉協会」を発足させた。



▲気軽に高湯の泉質を楽しめる「あったか温泉公園」



▲県内外から多くの人が訪れる、人気の高湯温泉共同浴場「あったか湯」



▲桶のふたを開閉したり、分湯箱で湯量を増やしたり絞ったりして温度を調節